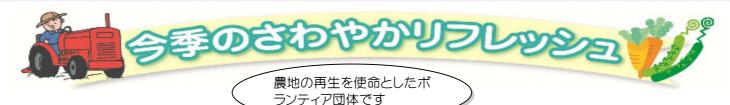


農地再生八十通信



発行:福島県耕作放棄地対策協議会編集:福島県農村振興課 TEL 024-521-7415 FAX 024-521-7545 E-mail:nosonshinko@pref.fukushima.jp



耕作放棄地活用支援「ふくしま・たがやし隊」の活動を紹介します。

教育ファームの収穫ボランティア

○ボランティア活動の内容

県事業で設置している水田を活用した教育ファームにおいて、石川町の「野木沢まちづくり委員会」から収穫ボランティアの要請を受け、石川町立野木沢小学校の児童とともに収穫作業を行いました。





耕作放棄地の再生作業

○ボランティア活動の内容

郡山市の農業者の方が、経営規模拡大のため、田村市でネギの栽培を実施するにあたり、耕作放棄地を再生する作業をお手伝いしました。





今回は、「耕作放棄地の再生作業」と「耕作放棄地再生後の農作業」のお手伝いを行いましたが、「加工・販売」、「イベントや県事業への参加」などの活動も実施しています。

むらからまちから

南金津町農業再生協議会

の取組を紹介いたします。



① 協議会の設立経緯

増加傾向にある耕作放棄地の拡大防止と解消を進めるため、平成 21 年 11 月に南会津町耕作放棄地対策協議会を設立し、平成 24 年 1 月には農業者戸別所得補償制度の推進に向け、担い手確保や遊休農地活用の相互連携による一体的な事業展開を図るため、関係団体を統合し南会津町農業再生協議会を設立しました。

② 今年度の取組状況

農業生産法人や担い手が耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して耕作放棄地の 解消に取り組み、合計約 6.1haの耕作放棄地が解消され、主にそばが作付けされました。



10haを超える解消活動を行う農業生産法人・営農団体が複数存在し、いずれもそばを作付けしています。有機栽培に向けて無化学肥料・無農薬栽培をしている団体や、製粉所の整備、蕎麦店の開設、独自の販路拡大や6次産業化を進めている法人があるなど、それぞれの団体が創意工夫して栽培・販売を行っています。

4 次年度以降の抱負・活動展開予定

解消事業についての PR 活動を強化するとともに、複数品目で解消を推進することで更なる耕作放棄地の解消を図ります。





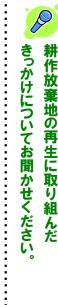
間 で 3.0

平 成

19年から始まった耕作放棄地再生の面積は、

5

みつばち菜花クラブのみなさん



これまでに再生した耕作放棄地の利用状況について お聞かせください。

B

じまりです。 の花やそばを作付けした(初年度の解消面積: 0. ha)ことがは ので、土地所有者に相談して、地区内にあった耕作放棄地に菜 養することにしました。そこで蜜源を確保する必要があった ますが、平成 18 年頃から全国的にミツバチ数が急減してきた 組織です。我々は、イチゴの受粉交配にミツバチを利用してい ことに危機意識を持ち、平成 19 年に自分たちでミツバチを飼 みつばち菜花クラブは、集落のイチゴ栽培農家で結成した

ほ場を管理しています。

再生したほ場では、菜の花、そば、ひまわり、ヘアリーベッチ を栽培し、5 月~ 9 月までの期間を通してミツバチの蜜源 交付金)を活用して再生し、平成 23 年度からは、矢祭町耕作 てきて、現在では約28万~35万匹飼養しています。 を確保することができました。また、ミツバチも年々増加し 平成 21 年度は、国の事業(耕作放棄地再生利用緊急対策

D 今後の目標をお聞かせください。 「自分たちでミツバチを飼養する」という目標は、概ね達成

るようにしたいと思います。

できたので、今後は、蜜源の維持・管理に係る経費を確保でき

放棄地対策協議会で購入した草刈り機を賃借するなどして hで、地区内の耕作放棄地はほぼなくなりました。





福島県並びに県協議会からのお知らせ~

県協議会では、「東日本大震災や原発事故で避難されている方などが避難先」や「風評被害な などで、耕作放棄地を利用して営農を再開する取組を支援する 農継続支援耕作放棄地活用事業」の募集を行っております。本事業はこれまで、 証は場による営農再開、牧草地確保や園芸施設導入などに活用されております。

詳しくは、県耕作放棄地対策協議会、県農村振興課、各市町村等の地域耕作放棄地対策協議 会までお問い合わせください。



ボランティア活動の事務局員として、「ふくしま・たがやし隊」の活動のお手伝いをしましたが、 子供たちが慣れない手つきで一生懸命に稲を収穫している姿は、可愛くもあり清々しい気持ちに させてくれます。外で働くって気持ちがいいなっと、ふと我がお腹を見たらメタボなお腹が「もっと 働け」と訴えかけているようでした・・・。

※今後「農地再生レインボー通信」の配信を希望される方は、 nosonshinko@pref.fukushima.jp までご連絡ください。